

【本号のトピックス】

参加報告(アジア・オセアニア国際老年学会議,
心身障害者口腔ケア活動,「口から食べたい」講演会)／支部活動たより

第9回アジア・オセアニア国際老年学会議に参加して

下山 和弘

東京医科歯科大学歯学部

平成 23 年 10 月 23 ～ 27 日, メルボルンにて開催された第 9 回アジア・オセアニア国際老年学会議に参加する機会を得ました。

学会事務局によれば, 参加登録者数は 910 名, 日本からの参加者は 118 名でした。Plenary lecture は 8 題, 基調講演 keynote lecture は 6 題, シンポジウムは 19 題, 一般口演は 487 題(日本からは 39 題), ポスター発表は 256 題(日本からは 59 題)でした。鳥羽研二先生(国立長寿医療研究センター病院長)が「虚弱高齢者」, 辻 哲夫先生(東京大学教授)が「長寿社会のホームヘルスケアシステム」のタイトルで plenary lecture を行いました。

歯科関連の演題は少なく, 筆者が確認できた日本老年歯科医学会会員の発表は鶴見大学尾口仁志先生, 森戸光彦先生らの口演「心身医学的

アプローチを必要とした 118 例の臨床統計的検討」と, 筆者らのポスター発表「高齢者と若年者の口腔機能の比較」のみでした。日本以外の歯科関連の発表はインドネシア 1 題(高齢者のオーラルヘルスケアの必要性), 韓国 1 題(咀嚼能力障害と社会的決定要因), オーストラリア 1 題(地域在住虚弱高齢者の口腔保健の改善), シンガポール 1 題(ナーシングホームにおいて肺炎を減少させられるか), UAE 1 題(看護師の口腔保健の知識)でした。

国際学会は, 参加者との交流により参加各国の動向がわかる貴重な場ですので, 次回の学会には多数の会員が参加されることを期待しております。また, 日本老年学会総会などで交流の機会があるようでなかった我が国の他分野の研究者との情報交換は, 今後の研究の方向性を考える上で貴重なものとなりました。



ポスター会場での昼食
混雑時には多くの人が立ったまま, または壁際の床に座って食事をしていました。



ポスター会場での討論

第五回心身障害者口腔ケア活動に参加して

下山 和弘
東京医科歯科大学歯学部

平成 23 年 10 月 29 日および 30 日に国立台湾科学教育館(台北市)で行われた、第五回心身障害者口腔ケア活動(主催: 中華民國歯科医師会全国連合会, 中華歯科医学会など)に日本から 6 名が招待され講演する機会を得ました。本活動は全国口腔健康週間の一環として行われたものです。

国立台湾科学教育館 1 階では一般参加者向けに歯科健診や保健指導などが行われ、9 階の国際会議場前では病院、ナースিংホーム、学校などによる口腔保健に関するポスター発表が行われていました。国際会議場では 29 日午前に口腔清掃に関する映像部門(個人部門 10 作品, 団体部門 8 作品)の発表が行われ、午後には心身障害者の口腔の健康促進に関するパフォーマンス(参加は 15 施設)が行われました。日本の武士を題材にした演劇もあり、またそれぞれの優秀賞の表彰時には参加者が喜びを存分に表現して、楽しい時間を過ごすことができました。

30 日には国際会議場で要介護者口腔ケア検討会が開催されました。講演順に氏名・所属と講演タイトルを示しますと、筆者「日本の高齢者歯科医療の現状」、浅野倉栄氏(横浜市緑区歯科医師会)「特別養護老人ホームでの口腔ケアから生まれる多職種

連携」、渡辺三恵子氏(世田谷区立芦花ホーム)「特養ホームでの健口体操と呼吸リハ～多職種の協働が QOL を支える～」, 古賀ゆかり氏(豊島区あぜりあ歯科診療所)「東京都豊島区における高齢者歯科診療および訪問歯科診療の取り組み」、椎名恵子氏(江東区健康部)「日本における高齢者歯科保健・医療制度と東京都の取組」(以上、本学会会員)、中村奈都美氏(国立がん研究センター中央病院)「がん患者をサポートする口腔ケア」でした。

多数の質問があり、日本の知識・技術を吸収しようとする熱意が感じられました。



ポスター前での認知症の方々のパフォーマンスの練習



歯科健診



検討会終了後の記念撮影

第15回「口から食べたい」講演会

「求めよ、さらば与えられん ～その思いに応えたい!」に出席して

支部組織検討委員会
委員長 水口 俊介

平成 23 年 11 月 6 日(日)、愛媛県伊予郡松前町松前総合文化センターにて標記講演会が開催されました。本講演会は伊予歯科医師会・伊予医師会・松前町が主催となり、約 15 年前より開催しています。摂食嚥下に関する関心が現在のような高まりを見せるかなり以前から、伊予郡市部の医師、歯科医

師により強力な熱意と使命感によって開始されたものです。要介護者、高齢者における摂食に関する話題を取り上げ、伊予郡市部のみならず愛媛県内外からも多くの聴衆を集め、熱気ある講演会を毎年開催し続けており、本年も看護師、介護士、医師、歯科医師、歯科衛生士など 600 名あまりの聴衆が

集まりました。

午前中は、石川県特別支援学校教諭でエッセイストである山元加津子先生による「リハビリの祈りのことばは、いつもきっと脳に届きます」という講演で、脳幹出血で一生植物状態と言われた親友の介護に参加し、車椅子を使用できるまでになった話でした。親友は意識がないわけではない、必ず植物状態から脱出できると信じ、親友の介護に成功した事例は、「この講演会を聴いた人たちだけでなく、ほかのすべての人に知っていてほしい」という山元先生の強いことばで締めくくられました。

午後は、静岡県立大学教授(元筑波大学教授)の紙屋克子先生による「再び笑顔でたべてほしいー意識障害患者の経口摂取への取り組みー」でした。紙屋先生が手掛けられた多くの回復症例が、週末のボランティア看護チームの活躍とともに紹介され、「プロフェッショナルの力はすごい。週末だけの介入でここまでできるのである。どうか皆さん、自信を持って毎日の仕事にあたってほしい。そしてルーチンの仕事は大変だけどちょっと頑張ればここまでできるということを自覚してほしい」と、教育者らしい強いメッセージを述べられました。最後に口から食べたい講演会の創始者のひとりである升田勝喜先生(歯科医師)、リハビリテーション病院である伊予病院院長藤田正明先生(医師)、そして言語聴覚士や看護師の方々と討論が行われました。

熱気あふれる講演会で一日があっという間に終了しました。このような講演会が継続され介護に携わる多職種の方々の助力となり、日々の活動に本学会がより大きく貢献できるようになればと強く感じた次第です。



支部活動たより

支部組織検討委員会

(後援)社団法人日本補綴歯科学会 生涯学習公開セミナー

日時：平成 24 年 2 月 5 日(日) 14:30 ~ 16:30
会場：兵庫県歯科医師会館

〒650-0003 兵庫県神戸市中央区山本通 5 丁目 7 番 18 号

内容：在宅医療における口腔リハビリテーション

演者 1：小谷泰子(大阪大学歯学部附属病院・臨床講師・平成歯科クリニック)
摂食機能療法について

演者 2：大槻榮人先生(大阪歯科大学高齢者歯科学講座非常勤講師・大槻歯科医院)
在宅診療の実際(補綴治療を中心に)

演者 3：小野高裕先生(大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座准教授)
嚥下補助装置について

主催：(社)日本補綴歯科学会

後援：(社)兵庫県歯科医師会、日本老年歯科医学会兵庫県支部、関西ブロック

事務局等：大阪歯科大学高齢者歯科学講座

高橋 一也

Tel: 06-6910-1050 Fax: 06-6910-1050

E-mail: kazuya-t@cc.osaka-dent.ac.jp

(主催)平成 23 年度第 1 回日本老年歯科医学会 徳島県支部研修会

日時：平成 24 年 2 月 16 日(木) 17:30 ~ 19:00

場所：徳島県歯科医師会館会議室(1F)

学会会員無料 非会員参加費 500 円

内容：

演者 1：永尾 寛先生

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野准教授)
義歯関連補助剤の効用

演者 2：市川哲雄先生(日本老年歯科医学会徳島県支部長、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野教授)

本当の口腔ケアとは

主催：(社)日本老年歯科医学会徳島県支部

後援：(社)徳島県歯科医師会

事務局等：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面補綴学分野

Tel: 088-633-7347 Fax: 088-633-7461

E-mail: hotetsu1@dent.tokushima-u.ac.jp

受付日

一般社団法人日本老年歯科医学会入会申込書

一般社団法人日本老年歯科医学会への入会をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、FAX あるいは郵送にて、本会事務局までご送付下さい。なお、入会金および年会費(合計12,000円)は、銀行振込みあるいは現金書留のご都合の良い方法でご納入下さいますようお願いいたします。銀行振込みでご納入いただいた場合には振込依頼書等のコピーを【編集後記】の欄に貼付の上、ご送付下さい。

入会金：2,000円、正会員会費：10,000円(4月～3月) * 年度途中から入会されても入会金、正会員会費に変更はありません。

* 銀行振込先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店 普通預金1296121 別口一般社団法人日本老年歯科医学会 代表理事 森戸光彦

<事務局> 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 (財)口腔保健協会内 FAX: 03-3947-8341

会員 No.				性別		1 男	2 女	生年月日(西暦)		年	月	日	
氏名	フリガナ							アルファベット(ローマ字・英語等の表記)					
	漢字	姓	名										
最終学歴		(学校名)						1 学部卒	卒業年(西暦)		年(卒・見込)		
								2 院卒					
勤務先	郵便番号	—				TEL				希望送付先	0	勤務先	1 自宅
						FAX							
	住所												
	勤務先名称												
	※フリガナ												
	Eメール												
現住所	郵便番号	—				TEL				※Eメールのフリガナ例	ゼロ イチ ヨン ナ ナ イ ル オ		
						FAX				0 1 4 7 i l o			
	住所												
	ビル名気付等												
	※フリガナ												
	Eメール												
日本歯科医師会 会員区分		0 会員でない	職種	0 歯科医師	4 保健師	勤務先	0 大学	1 病院	2 開業				
		1 会員である		1 歯科衛生士	5 看護師								
				2 歯科技工士	6 その他								
			3 医師	6 ()									
※年度末にお申込の場合、ご希望のご入会年度にレ印を付けて下さい。										☐ 年度内入会希望 ☐ 次年度入会希望			
※現在加入している他の学会名をご記入下さい。													

* ご入会は学会 HP(<http://www.gerodontology.jp/form/form>)でもお申込み頂けます。

編集後記

会員の皆様、あけましておめでとうございます。会報第6号は下山和弘教授、水口俊介教授にご執筆いただきました。下山教授は高齢化が進む台湾に、我が国の高齢者歯科情報を熱心に発信していらっしゃる先生です。台湾歯科医学会からも招聘され、講演も行っておられます(本学会誌23巻4号をご参照ください)。水口教授は全部床義歯補綴学が専門で、高齢者の摂食等を中心に、幅広い領域で、エネルギーに活躍されている先生です。ご出身が愛媛県松前町ということで、「口から食べたい」講演会には以前から興味をもっていたそうです。お二人の先生方、ご執筆ありがとうございました。先生方のこのような活動によ

り、我が国の老年歯学が一段と重要度を増していくのではないかと思います。会員の先生方もぜひそのご活動の一端を本紙に紹介ください。(大渡凡人)



発行人 森戸 光彦
編集 日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込 TSビル 401 (財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 ファックス 03-3947-8341